

ご挨拶 理事長就任にあたって

私儀

3月15日の理事会において、第8代理事長に選出されましたことをお知らせ申し上げます。

日本フレンズ奉仕団は、エスター・B・ローズを創始者として、第2次大戦直後の被災者支援活動を展開したアメリカ・フレンズ奉仕団から引き継ぎ、児童福祉法制定の1年後の昭和24年に「おともだち保育園」を開設し、昭和26年の社会福祉事業法制定を受けて、昭和28年に設立された社会福祉法人です。

平成10年4月にフレンズホームの第2代施設長に就任した私は、同じ法人でありながら、保育と高齢者福祉の制度の隔たり、高齢者福祉事業の組織の間の溝に直面し、法人事業の一体的運営の必要性を感じて、常務理事を兼任する体制を選択し、18年が推移しました。現職のまま理事長に就任するについては、様々な思いが去来しますが、ジャック・ウェルチ（元GE会長）の言葉「常に首尾一貫していること」「形式ばらずに自由で気楽な雰囲気を作ること」「傲慢と自信の違いを知ること」「最高のアイディアは常に現場から生まれる」を胸に刻み、次代を繋ぐ人材の育成に力を尽くしてまいります。

折から、改正社会福祉法により、社会福祉法人の公益性が叫ばれ、地域貢献が声高に聞こえますが、フレンズの先達がワークキャンプに汗を流し、救援物資の配給や地域住民のための生活支援活動を実践したという歴史が当法人にはあります。「地域の人々と協働するコミュニティワーカーのプロ集団を目指す」という、今から13年前に策定した経営理念の実をあげるために、今、理事長として奉仕できることに感謝し、併せて皆様の変わらぬご厚誼をお願い申し上げます。

平成28年4月清明

社会福祉法人 日本フレンズ奉仕団  
理事長 飯田 能子